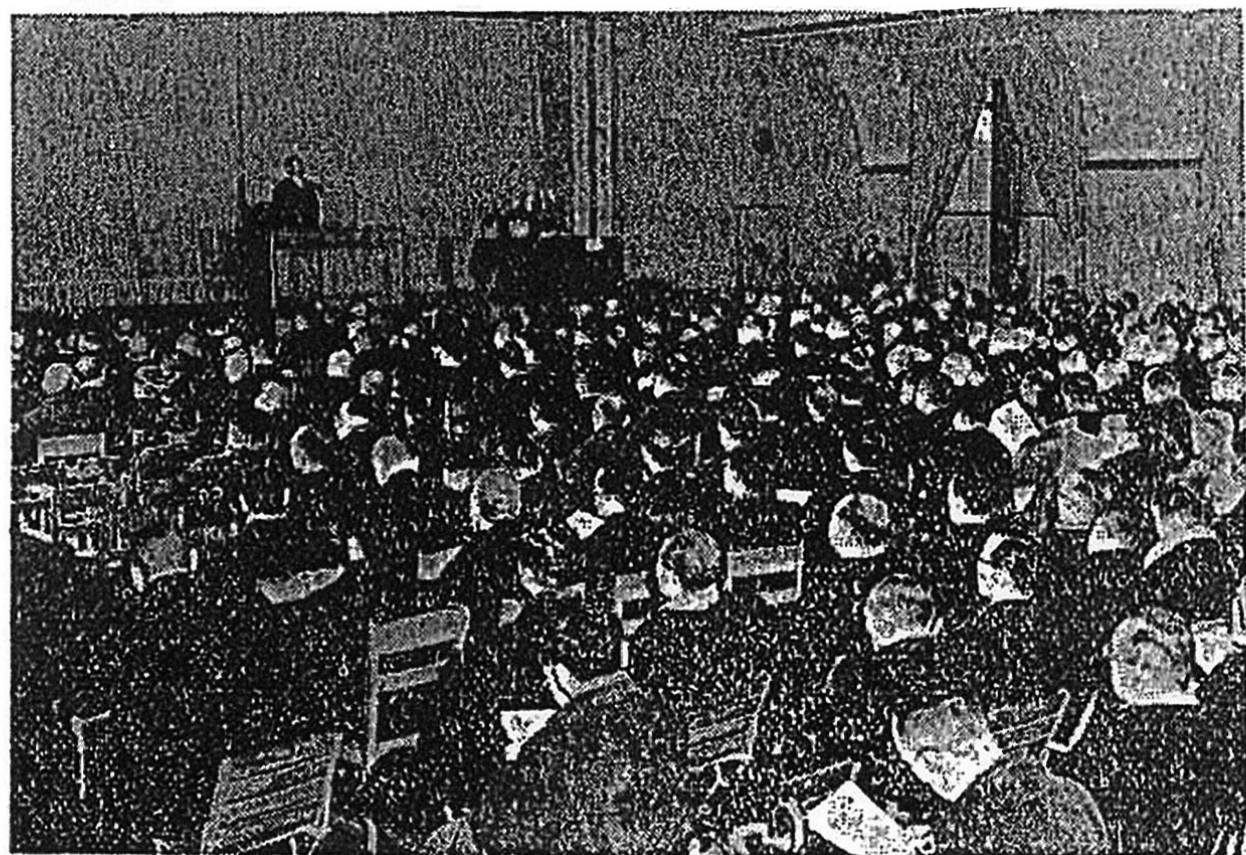


完べきなる水害の防止をめざして



(一建設省大会議室に於ける大会の全景一)

全国水防管理團體 連合会結成さる

全国の水防管理団体を打つて一丸とする連合結成の
氣運が、昨年の災害を機として盛上り、去る一月十三
日午前十時から建設省五階大会議室に、全国関係者五
百余名出席して結成式が舉行された。先ず中山栄一
(前代議士) 結成準備委員長から結成に至る迄の経過
報告があり、堤衆議院議長、戸塚建設大臣、改進黨代
表衆議院議員松浦周太郎、參議院建設委員長石川清一
參議院議員、全国治水期成同盟会連合会長岩沢忠恭參
議院議員、社会党代表前田栄之助衆議院議員の祝辞が
あつて、規約並びに予算の審議を行つて後役員の選任
に移り、会長は茨城県水防管理団体の代表中山栄一前
衆議院議員が選任され、引続き別項の如き決議を行つ
て大会を終了した。

選出された役員

会 長	中 山 栄 一 (茨城県代表・前衆議院議員)
副 会 長	大 野 忠 右 エ 門 (秋田県代表・秋田連合会会長)
副 会 長	浦 上 衛 門 (大阪代表・大阪土木局長)
副 会 長	水 野 鐘 一 (愛知県代表・愛知県副知事)
常任理事	埼 玉 県 代 表 宮 城 県 代 表 北 海 道 代 表 群 馬 県 代 表 岐 阜 県 代 表 兵 庫 県 代 表 広 島 県 代 表 新 潟 県 代 表

当日発言及び議事の

進行に関係した人々

吉田嘉右エ門 大野 秀 夫

高川 謙二 鈴木源次郎
北海道代表 富山県代表
青森県代表 京都府代表
兵庫県代表 静岡県代表
和歌山県代表 徳島県代表
長野県代表

其他の代表は時間の都合上意見を述べることが出来なかつた。

決 議

治水の万全を謳歌するに前途なお遠く、荒廃著しい河川に海岸に、水害頻々として激発するとき、国土保全と民生擁護の誇りを自負するわれら水防管理団体は団員の志気昂揚と技術の錬磨に余念なきところであるが、如何せん貧困なる財政力をもつては、所要施設ならびに器具資材の整備に缺くところ多く、物量不足は旺盛なる水防活動の成果發揮を阻み、夙にこれに対する政府の積極的助成策が切望せられてい

たところである。

しかるに政府は、水防法制定以来僅に水防倉庫と資材員の一部につき国庫助成の方途を拓いたとはいへ、その額余りに僅少にして無爲無策のそしりを免れず、焦眉の急務とする水防態勢の強化育成は到底期待し難いところである。ここにおいて、国家の興隆を冀求してやまないわれら全国の水防管理団体は、慨然起つてその総力を結集し、政府ならびに国会の猛省を促すと共に、左記事項の即時断行を強く政府に要請せんとするものである。

記

- 一、昭和二十九年年度予算に国庫補助金拾億円を計上し、国庫補助率を二分の一に引上げること。
- 二、水防用通信網の確保及び所要施設の拡充強化を図ること。
- 三、水防犠牲者の救済及び補償制度を確立すること。

右決議する。

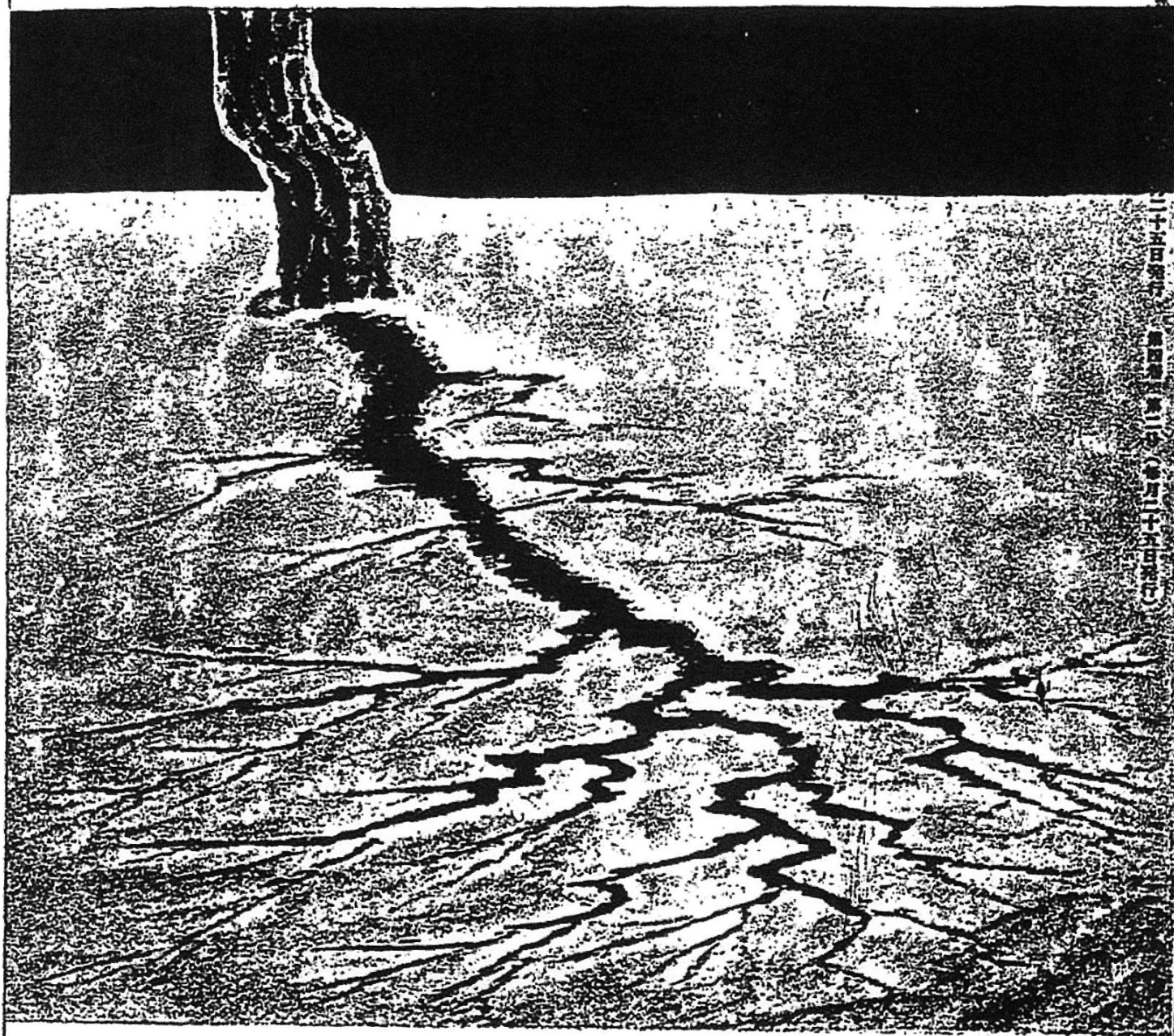
昭和二十九年一月十三日

本年の課題展望

文化と緑化

災害の実体と予算措置の方向……奥村 義雄
予算分どり攻防戦の内幕……永田 住雄
政党を斬る・右派社会党……鍋山貞親ほか

昭和二十六年八月二十四日第三報時局版



二十五日発行 第四卷第二号（七月二十五日発行）

国会政策研究議員クラブ・桃園会発行